

# 株式会社テリロジー 2013年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2012年11月13日

## ■ 目 次

1. 2013年3月期 第2四半期決算の概要
  - ・ 業績ハイライト
  - ・ 2013年3月期 第2四半期累計期間 業績の実績(予算対比)
  - ・ 事業部門別売上実績
  - ・ 事業部門別業績の概要
2. 2013年3月期 通期業績の見通し
  - ・ 2013年3月期 業績の予想数値(連結)
  - ・ 事業部門別売上予想数値
  - ・ 2013年3月期 下期の重点施策
  - ・ 成長戦略「重点ターゲット分野への取り組み」
  - ・ 事業部門別売上予想数値

## 【ご参考資料】

### 新3ヵ年中期経営計画について

- ・ 目標とする経営指標
- ・ 中期経営計画のビジョン
- ・ テリロジーの成長戦略
- ・ 中期経営計画のロードマップ
- ・ 中期経営計画の目標数値

**株式会社テリロジー**  
**2013年3月期 第2四半期**  
**決算説明会**  
**2012年11月7日**

**取締役副社長 阿部 昭彦**

# 2013年3月期 第2四半期 決算の概要

## ■業績ハイライト

### 売上増加

### 売上総利益率改善

#### ●売上高8.6%増／売上総利益12.7%増(予算対比)

- 移動体通信事業者のLTE、Wi-Fiを繋ぐネットワーク可視化案件。
- 特定の企業、団体を狙うサイバー攻撃に対するセキュリティ対策案件。
- 収益構造の改善による商品販売の利益率好転。

#### ●営業利益は黒字化したものの予算未達

- コストの増加により販売管理費が拡大。
  - ・R&Dセンタ、海外事業強化への要員の中途採用による人材募集費。
  - ・国内ならびに香港、シンガポールにおけるイベント、セミナーの開催。
- 受注活動に伴い、技術構築工数等が発生。

#### ●特別損失を計上

- 有価証券売却益5百万円を計上。
- 通信事業者・データセンタ向けフールータ事業撤退に伴い、商品廃棄損41百万円を特別損失に計上。
- 当社保有の投資有価証券の評価損14百万円を計上。

※当第2四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期の数値およびこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っていません。

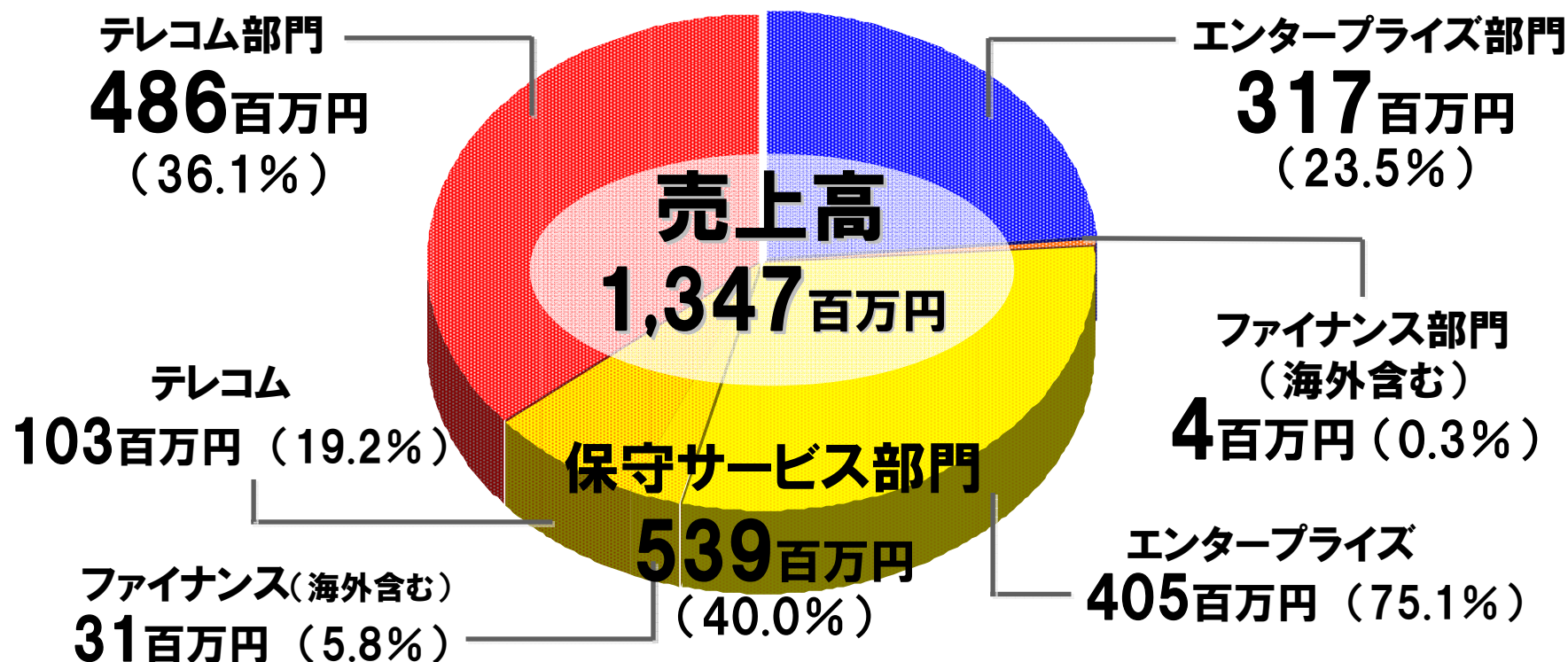
## ■ 2013年3月期 第2四半期累計期間 事業の実績(予算対比)

(単位:百万円)	2013年3月期 第2四半期		【予算】 2013年3月期 第2四半期		
	連結	個別	連結	増減額	増減比(%)
売上高	1,347	1,347	1,240	107	8.6
売上総利益	478	478	424	54	12.7
販売管理費	467	463	384	83	21.6
営業利益	10	15	40	△29	△72.8
経常利益	4	9	30	△25	△84.0
四半期純利益	△47	△42	30	△77	—

1株当たり	円 銭	円 銭	円 銭	—	—
四半期純利益	△307.92	△277.69	195.06	—	—

※当第2四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期の数値およびこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

■ 事業部門別売上実績



(単位:百万円)	当期第2四半期	【ご参考】前期第2四半期	増減額	増減率(%)
テレコム部門	486	450	35	8.0
エンタープライズ部門	317	306	10	3.4
ファイナンス部門(海外含む)	4	69	△65	△93.4
保守サービス部門	539	552	△12	△2.3

## ■事業部門別業績の概要①

### テレコム部門

売上高:486百万円(売上構成比:36.1%)

前年同期:450百万円、増減額:35百万円、増減率:8.0%

- **スマートフォンの急速な普及により、データ通信量は引き続き増加傾向。**
  - ・LTE、Wi-Fiを繋ぐ大規模ネットワーク可視化(モニタリング)案件が増加。
  - ・自社開発製品「momentum」が、ネットワークのパケットデータ収集ツールに採用。
- **当社が得意とする技術力が売上に貢献。**
  - ・高速モバイル通信サービス事業者(WiMAX)向けユーザ認証基盤構築の継続案件。
  - ・電力系ブロードサービスプロバイダ向けインターネット接続支援ソフトウェア開発案件。

### エンタープライズ部門

売上高:317百万円(売上構成比:23.5%)

前年同期:306百万円、増減額:10百万円、増減率:3.4%

- **特定の企業、団体を狙う標的型サイバー攻撃が増加。**
  - ・ネットワーク不正侵入防御セキュリティ商品(TippingPoint)の販売増。
  - ・次世代標的型マルウェア防御クラウドサービスの受注獲得にセミナーを開催。
- **顧客企業の手製造業では受注活動が堅調に推移。**
  - ・出張コスト、移動時間の削減に向けた多拠点間でのビデオ会議システム。
  - ・災害・障害時の拠点分散対策向けネットワーク構築案件。



## ■事業部門別業績の概要②

ファイナンス部門 (海外含む)	売上高:4百万円(売上構成比:0.3%) 前年同期:69百万円、増減額△65百万円、増減率:△93.4%
--------------------	---

- 主力商品「アルゴリズムトレーディング向け遅延監視ソリューション」が、米投資信託大手通信会社「KVH」の株式売買に係わる遅延測定サービスに採用。
- 香港法人(昨年12月設立)、シンガポールオフィス(6月開設)の活動。
  - ・アジア・パシフィック地域の主要証券取引所、外資系大手証券会社向け受注活動。
  - ・本ソリューション案件は高額かつ、商談・受注・納品・検収までの期間が長く売上に貢献できず。

保守サービス部門	売上高:539百万円(売上構成比:40.0%) 前年同期:552百万円、増減額:△12百万円、増減率:△2.3%
----------	---

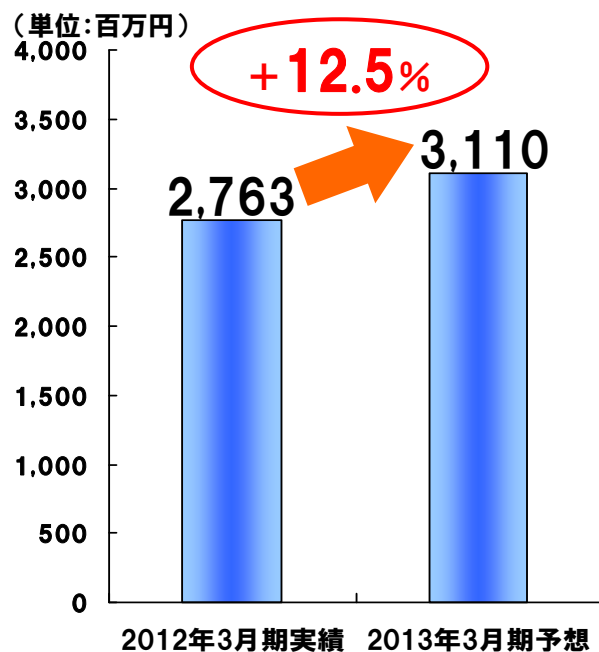
- 当社の安定的な収益基盤である当部門の売上高は堅調に推移。
  - ・売上高全体の約4割を占める。
- 保守業務の内製化による業務委託費の削減、保守契約更新率の向上に努める。

# 2013年3月期 通期業績の見通し

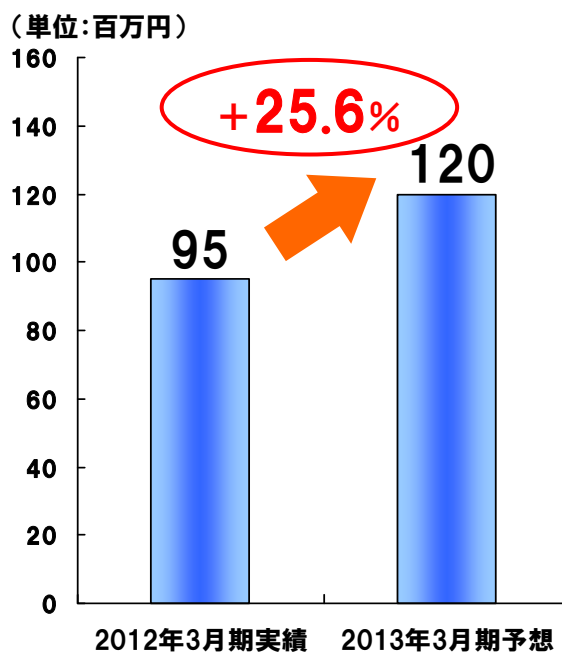
## ■2013年3月期 業績の予想数値(連結)

**売上高31.1億円、営業利益1.2億円、経常利益1億円**

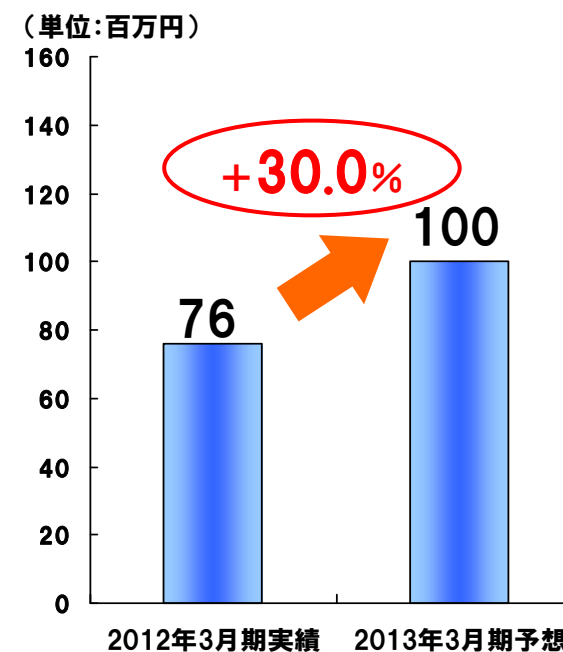
### ■売上高



### ■営業利益



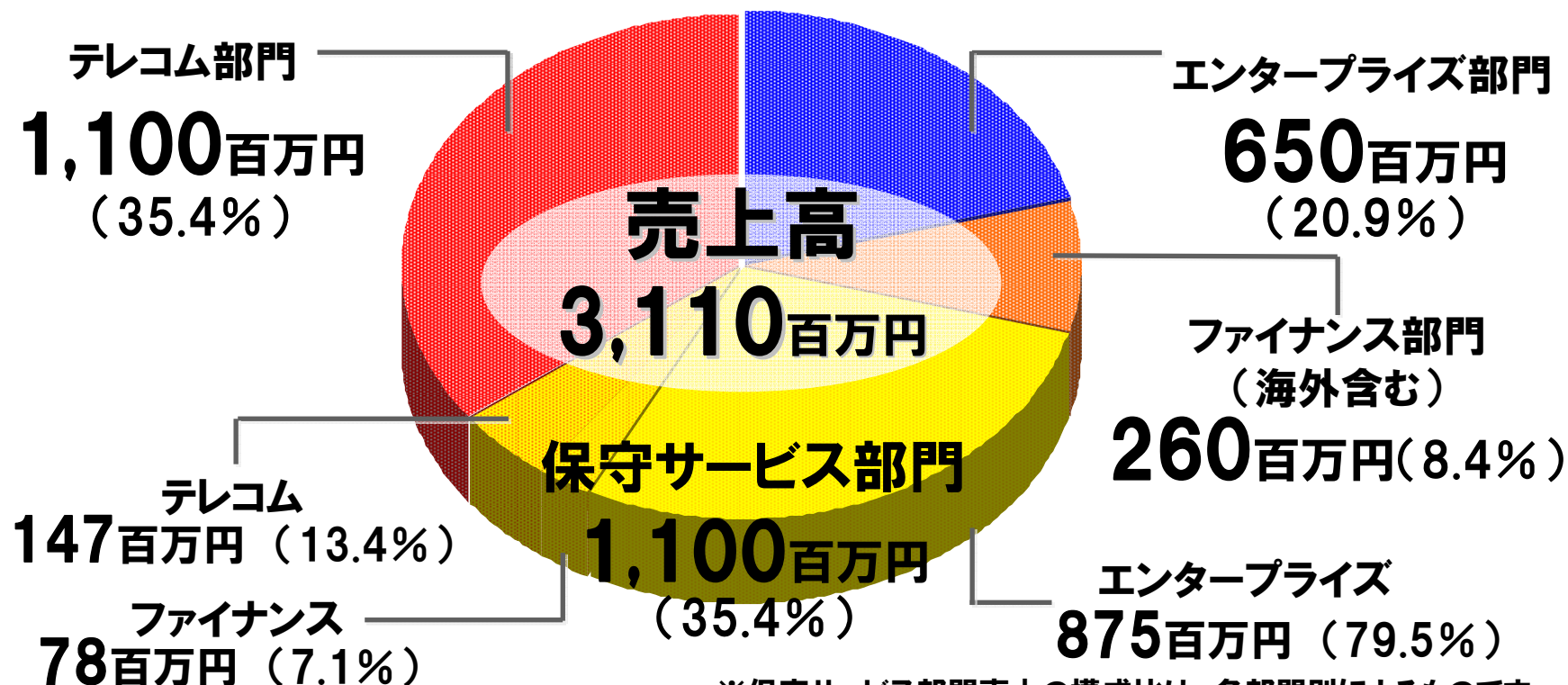
### ■経常利益



## ■2013年3月期 期末配当予想

配当予想(円)	<b>250/株</b>	配当性向(%)	<b>38.5%</b>
---------	--------------	---------	--------------

## ■事業部門別売上予想数値

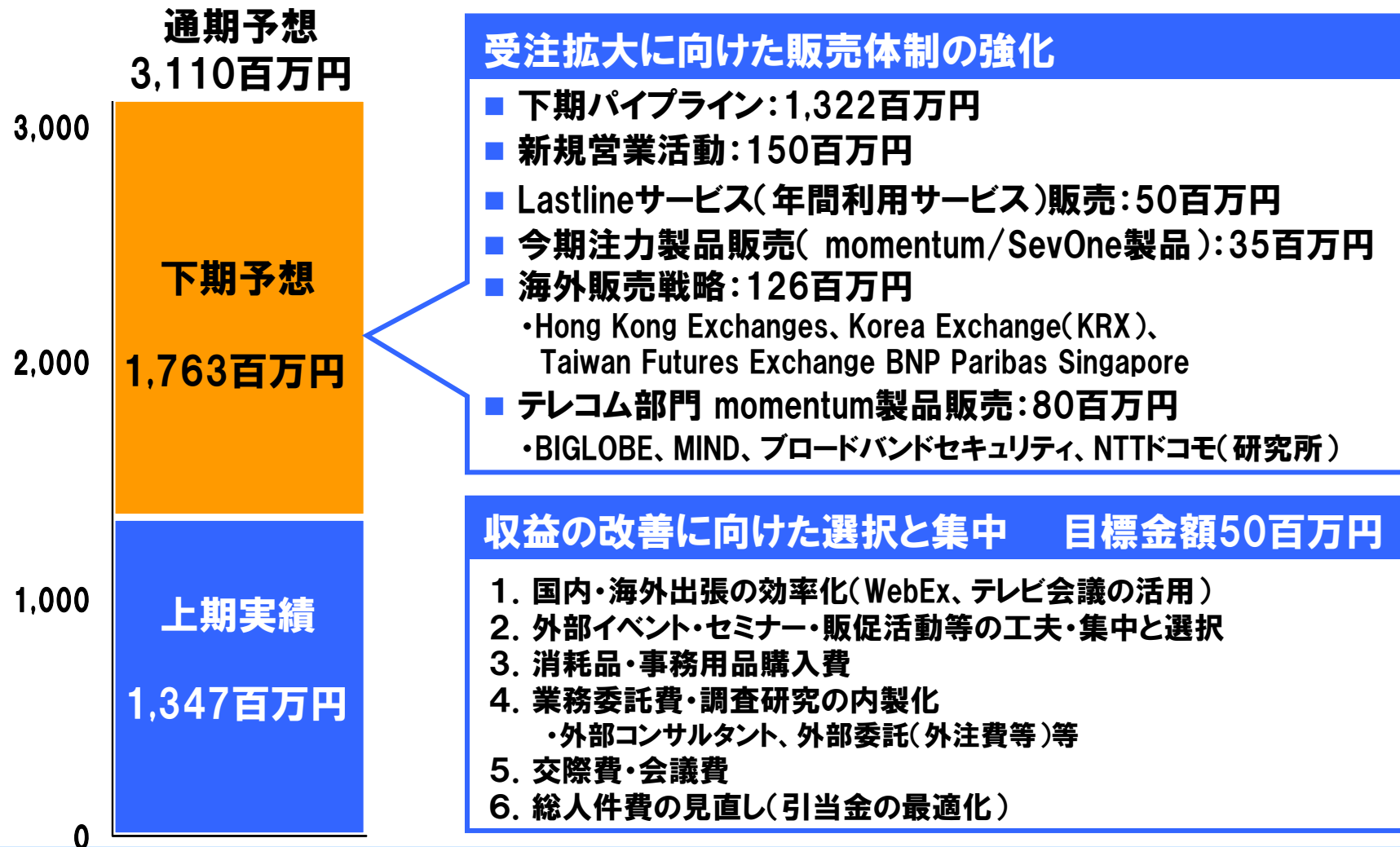


※保守サービス部門売上の構成比は、各部門別によるものです。

(単位:百万円)	2013年3月期予測	【ご参考】 2012年3月期実績	増減額	増減率(%)
テレコム部門	1,100	821	278	34.0
エンタープライズ部門	650	643	6	1.0
ファイナンス部門(海外含む)	260	207	52	25.0
保守サービス部門	1,100	1,091	8	0.8

## ■2013年3月期 下期の重点施策

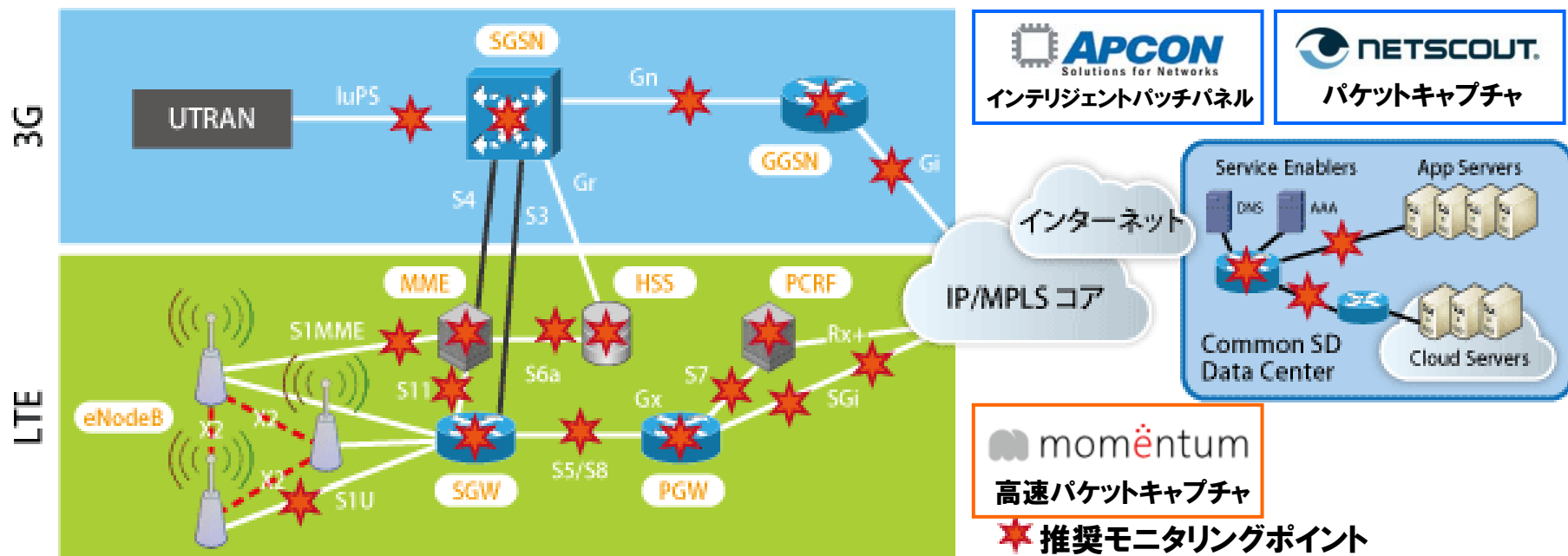
### ■売上高、利益目標の達成に向けた重点施策の実施



## ■成長戦略「重点ターゲット分野への取り組み」

重点ターゲット分野	成長するビジネステーマ
<p>テレコム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートフォンなどの急速な普及で、<b>データ通信量は引き続き増加傾向に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LTE、Wi-Fiサービスの拡大に伴うネットワーク構築案件</li> </ul> </li> <li>●公平なネットワークの利用に<b>定額制から従量課金へシフト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ通信量の制御・分析案件</li> </ul> </li> </ul>
<p>エンタープライズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>標的型サイバー攻撃</b>に対するセキュリティ対策</li> <li>●<b>業務用スマートデバイス</b>へのアプリケーションセキュリティ対策</li> <li>●<b>出張コスト、移動時間削減</b>に向けた多地拠点間ビデオ会議システム</li> <li>●<b>クラウドコンピューティング</b>のサーバ&amp;VDIの障害原因分析</li> </ul>
<p>ファイナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルゴリズムトレーディングの普及による<b>株式取引の高速化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港法人および、シンガポールオフィス(今年6月開設)を起点に、アジア・パシフィック地区の営業活動に注力。</li> </ul> </li> </ul>
<p>自社開発製品 ( momentum )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>ビッグデータ分析</b>に対応したネットワークモニタリング             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社オリジナル製品の積極的な販売。</li> <li>・市場ニーズへの対応性、利益性の追求。</li> </ul> </li> </ul>

- スマートフォンなどの急速な普及で、データ通信量は引き続き増加傾向に。  
モバイルキャリアは高品質なネットワークを再整備。
- 従来の携帯電話に比べ、**1人当たりの通信量が10～20倍に増加**。
- 国内通信事業者では高速データ通信サービス(LTE)がスタート。  
公衆無線LANサービス(Wi-Fi)と合わせ、データ通信量増加に対応。



公衆無線LANサービスとは、駅、空港、カフェ、ファーストフードなどで利用できる無線による高速インターネットサービス

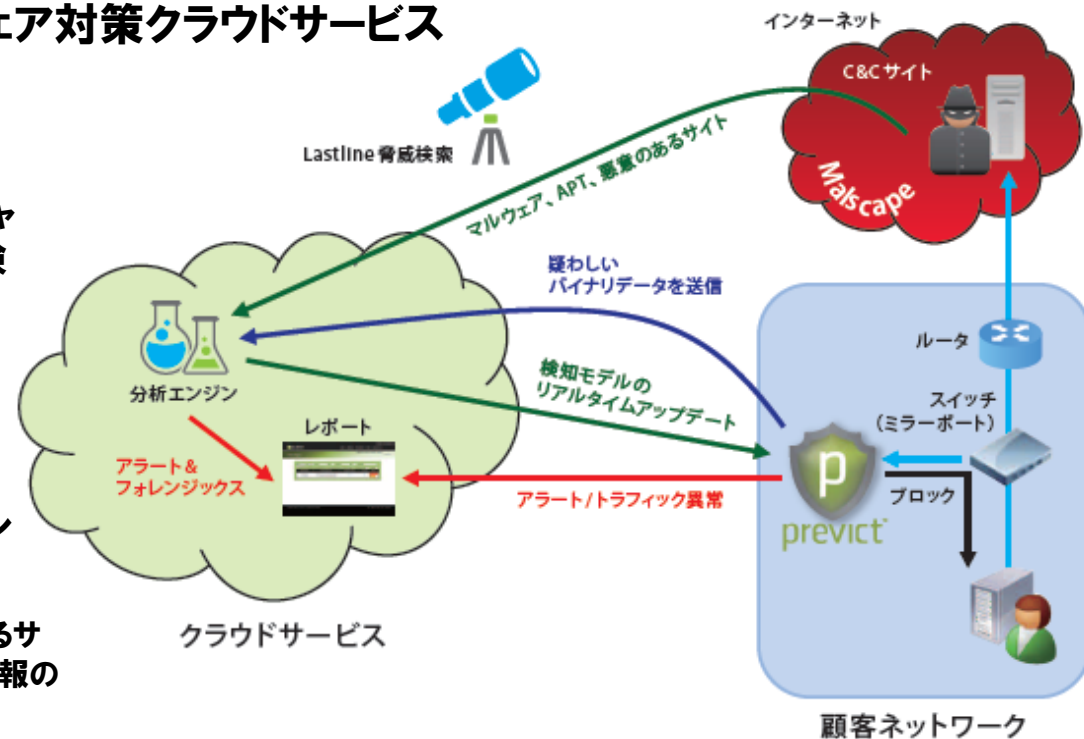
## ■ 標的型サイバー攻撃に対するセキュリティ対策

- 標的型サイバー攻撃を企業ネットワークの入口で防御するだけでなく、出口(企業ネットワークの脆弱の穴)から情報流出を防ぐ必要がある。
- 標的型サイバー攻撃の企業側入口防御対策としてTippingPoint社製品、出口対策としてLastLine社マルウェア対策サービスの提供。

### lastline 標的型攻撃マルウェア対策クラウドサービス

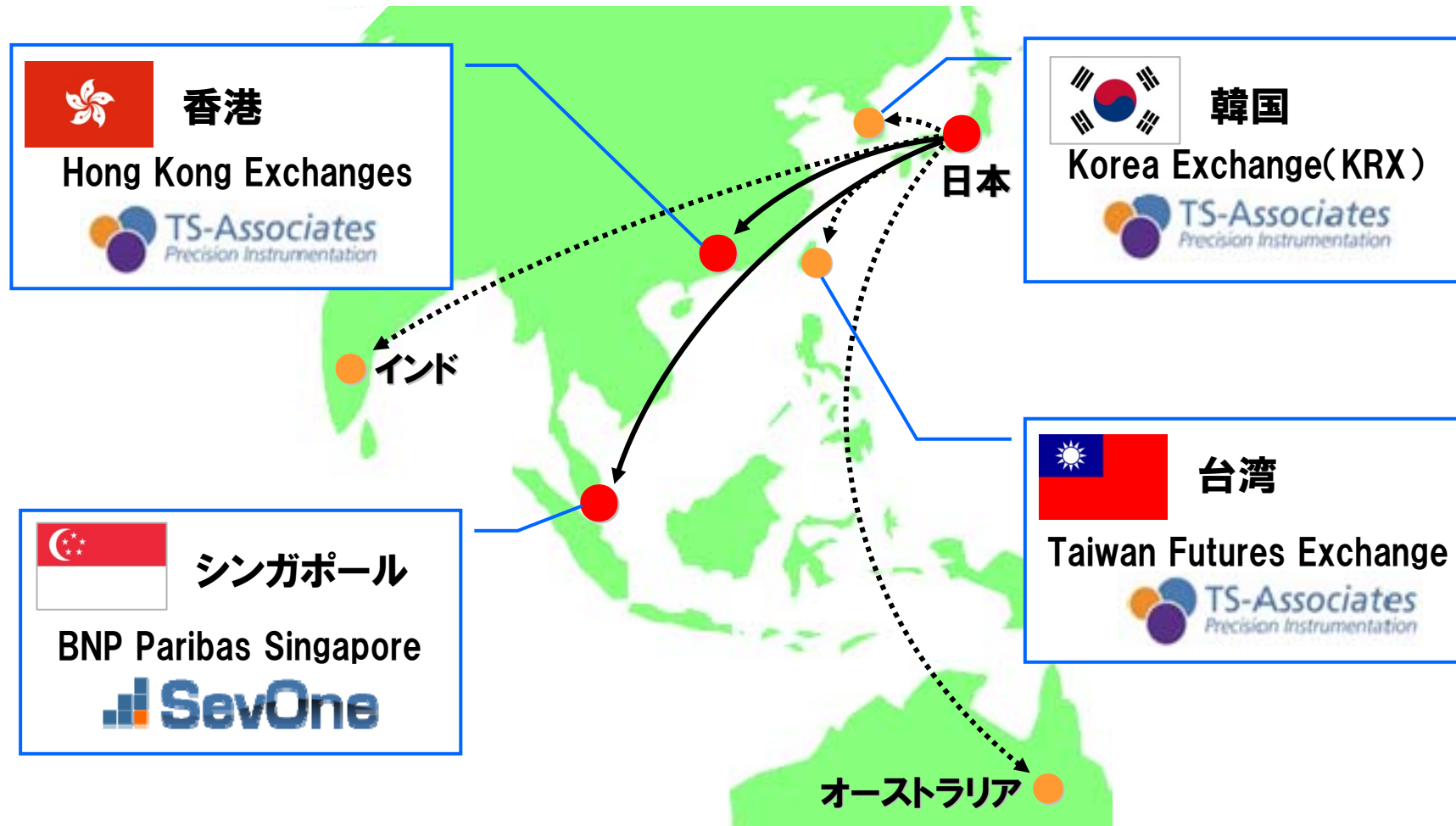
- リアルタイムに新型マルウェアを検出・分析・ブロック可能。
- コードエミュレーションにより、シグネチャでは難しかったゼロ・デイ・アタックの検出が可能。
- 全世界のマルウェア情報を収集し、Previct センサーに自動アップデート。
- 毎日数十万単位のウェブサイトを巡回しマルウェアサンプルを収集。
- 外部へ出ていくトラフィックをモニタリングし、怪しい行動※を識別し、ブロック。

※マルウェアのダウンロード要求、悪意のあるサイトへのアクセス、C&C サーバへの通信、情報のアップロードなど。





- 香港法人ならびにシンガポールオフィス(今年6月開設)を起点に、アジア・パシフィック地区の営業活動に注力。



## ■ ビッグデータ分析に対応したネットワークモニタリング。

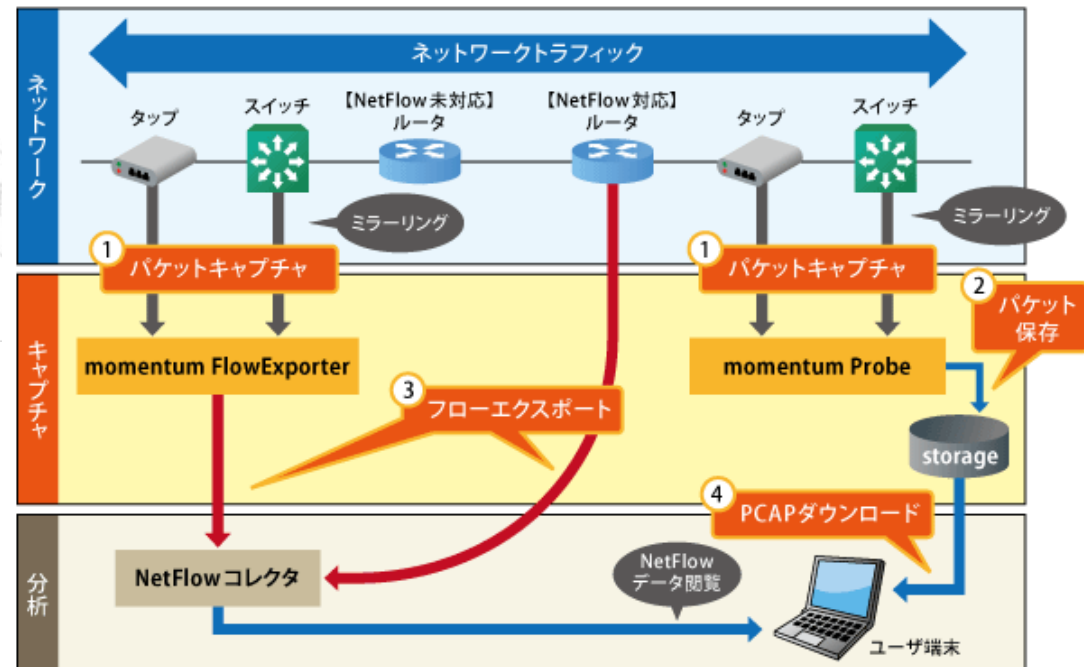
- 10ギガビット※ワイヤレートの高速パケットをキャプチャリング。  
業界初のネットワークモニタリング製品を提供。
- 高速検索データベース機能を搭載。

※10ギガビットとは、初期のネットワーク10メガビット(1,000万分の1秒)の1,000倍(100億分の1秒)

テリロジー自社開発パケットキャプチャ製品



momentumは高速パケット・キャプチャとパケット保存を可能にする高性能キャプチャリングソフトウェアです。  
キャプチャリングやモニタリングの基本である「正確にパケットをキャプチャする」という最も重要な機能を様々な高速化技術を用いて実現しています。



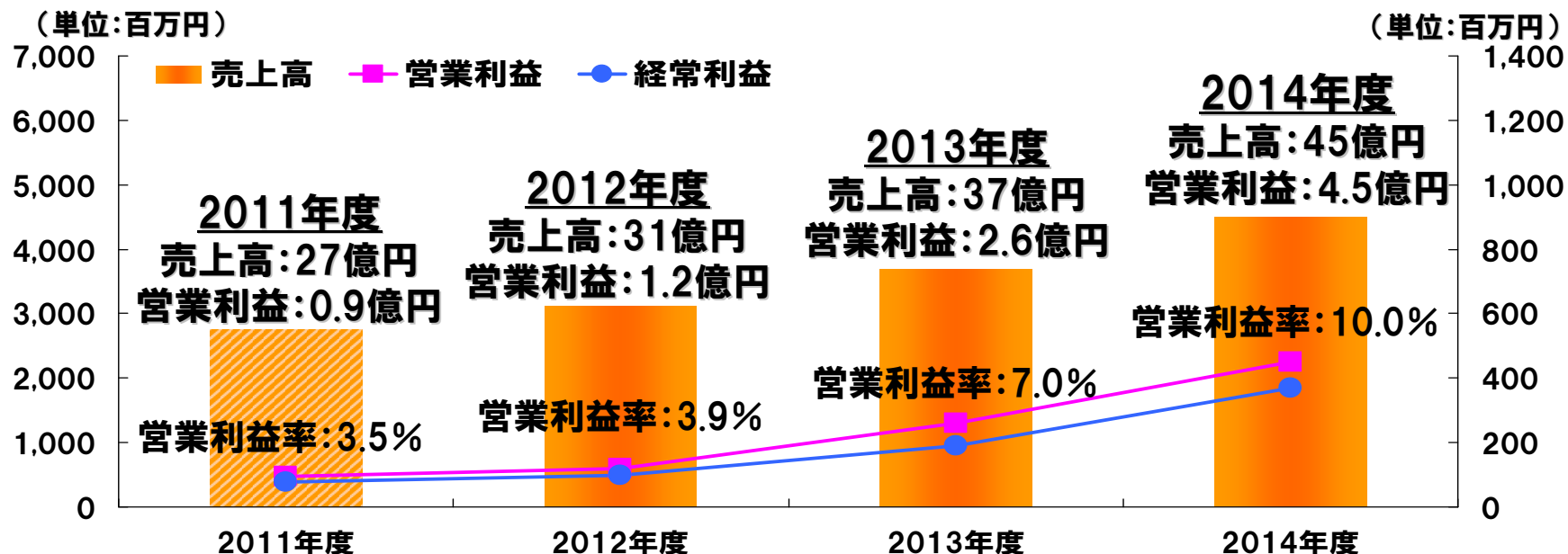
# 質疑・応答

**ご清聴いただきありがとうございます。**

# 新3カ年中期経営計画について

## ■ 目標とする経営指標(連結)

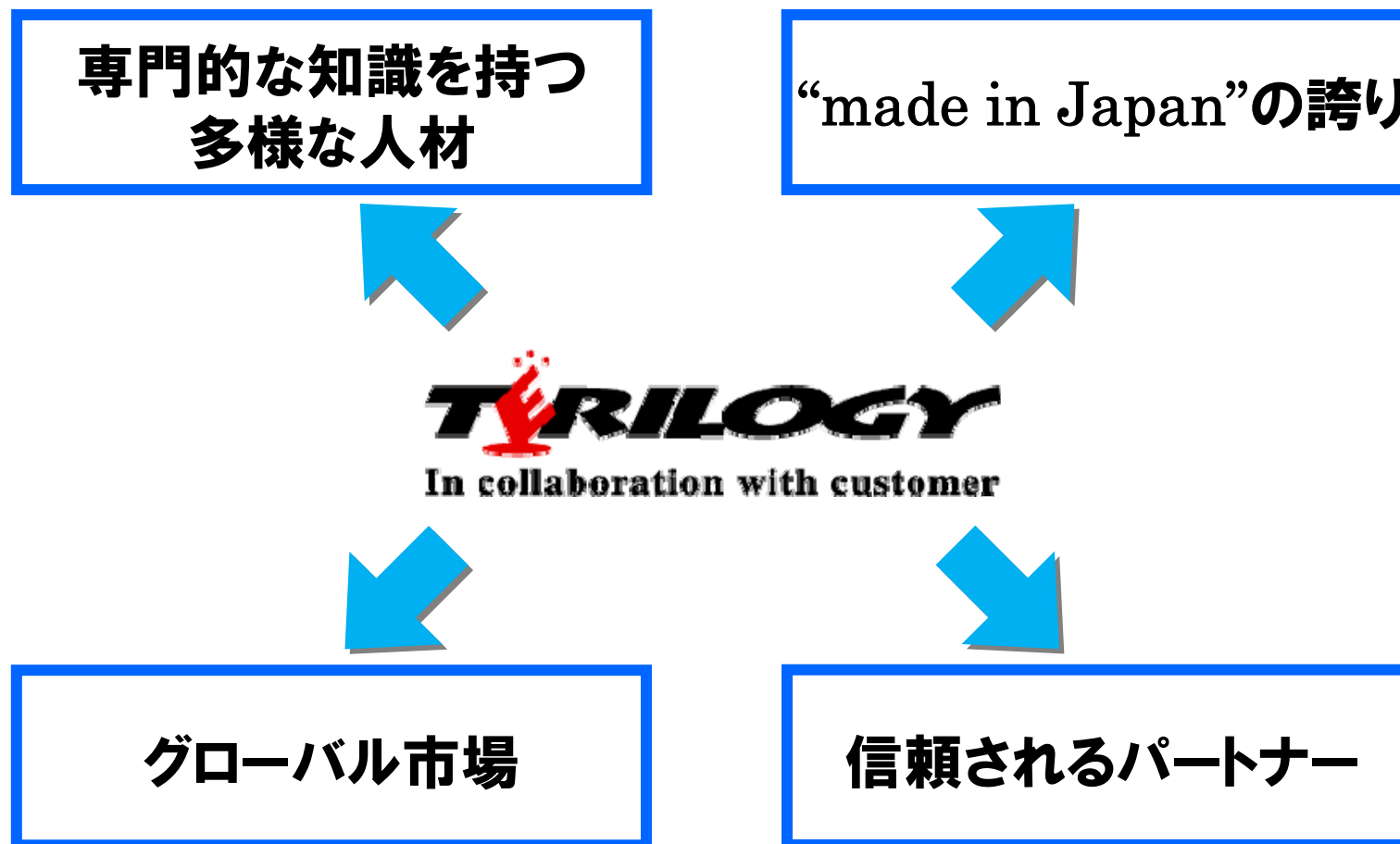
**ゴール 2014年度 営業利益率:10.0%、ROE:6.5%**



(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年度目標	3,110	120	100	100
2013年度目標	3,700	260	190	190
2014年度目標	4,500	450	370	370

企業価値と株主価値の最大化を目指し、ROE(Roturn on Equity:自己資本利益率)を重要指標と位置づけ、当面は**ROE6.5%**を目指す。

## ■中期経営計画のビジョン



■テリロジーの成長戦略

既存顧客による強固な経営基盤

戦略1 特定分野の専門性:モバイルキャリアビジネスのさらなる深耕

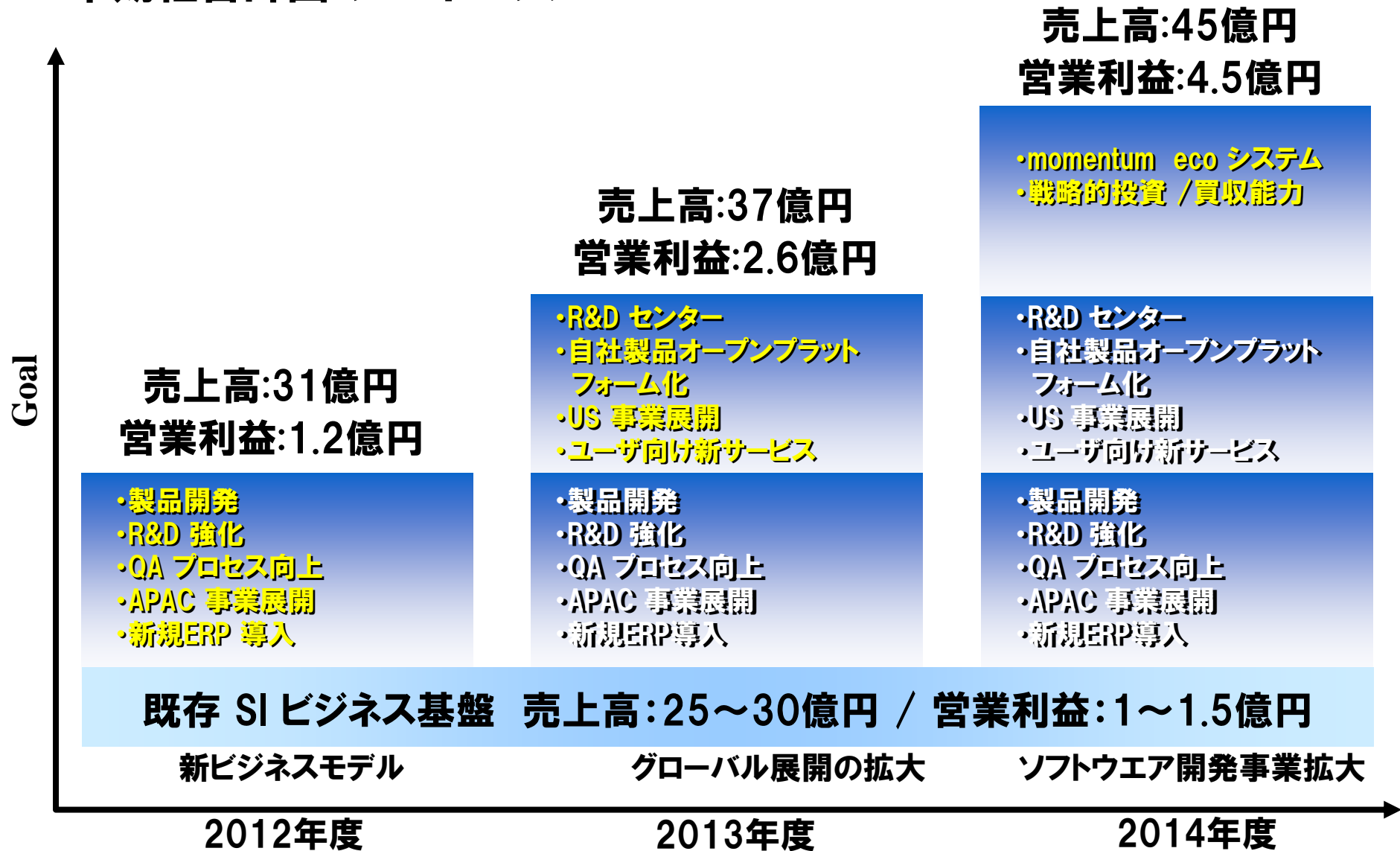
戦略2 売上増大:グローバル市場(ファイナンス)の拡大

戦略3 収益性アップ:自社独自製品“momentum”販売拡大

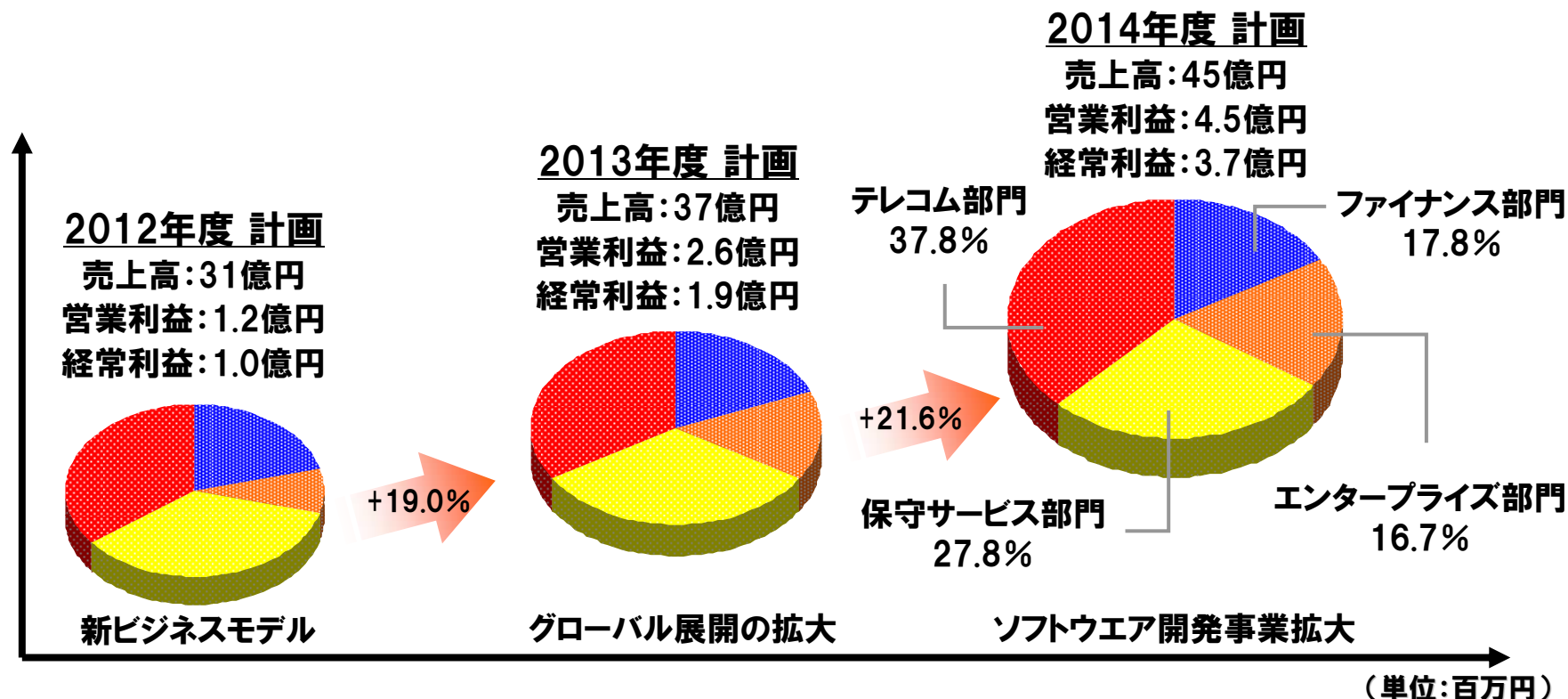
ゴール 2014年度 営業利益率:10.0%、ROE:6.5%



## ■ 中期経営計画のロードマップ



## ■事業部門別の目標数値



事業セグメント	2012年度 計画	2013年度 計画	2014年度 計画
テ レ コ ム 部 門	1,100	1,250	1,700
エ ン タ ー プ ラ イ ズ 部 門	650	700	750
フ ァ イ ナ ン ス 部 門 ( 海 外 含 む )	260	550	800
保 守 サ ー ビ ス	1,100	1,200	1,250

### **[免責事項]**

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

### **【IRに関するお問い合わせ先】**

**経営企画本部**

**広報宣伝・IR担当 齋藤**

**TEL:03-3237-3291 FAX:03-3237-3293**

**E-mail:ir@terilogy.com**